

# ぎふ感染症かわら版

平成 29 年 9 月 22 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



## 9 月 24 日～30 日は結核予防週間です！

それって、いつもの風邪ですか？ ～長引く咳は結核かも～

今年度の予防週間標語

結核は、日本では発生の多い感染症の一つです。

年々患者は減っているものの、2016 年は新たに約 1 万 8,000 人の患者が発生しています。また、岐阜県は、全国的にみても結核患者が多くなっています。

### どんな病気？

結核菌が体の中に入ることによって起こる病気です。

主に肺の内部で増えて病巣を作りますが（肺結核）、腎臓や腸など肺以外の臓器で増えることもあります。

**肺結核の場合、咳、たん、発熱など、かぜに似た症状が長く続きます。**

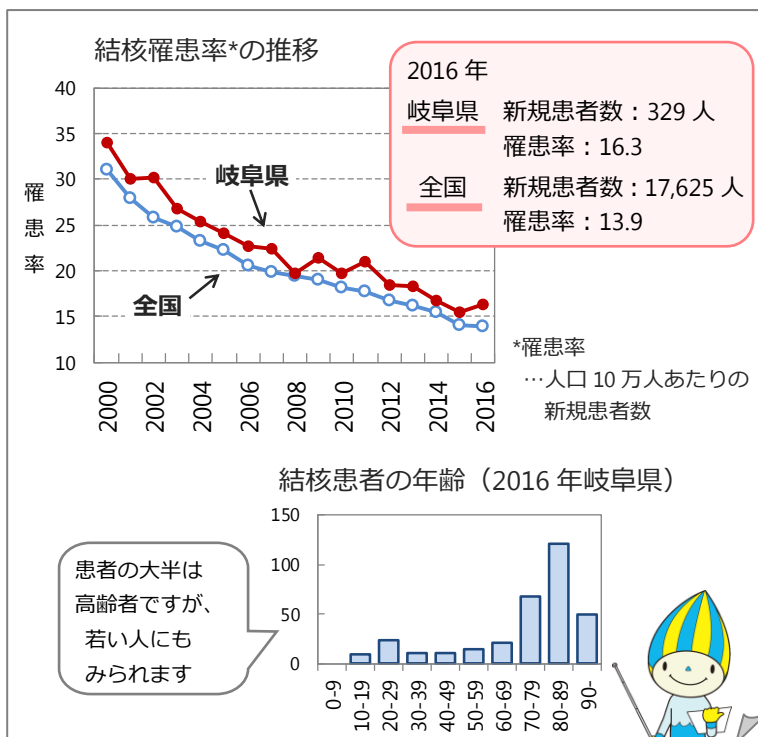
感染した場合、服薬による治療を行います。

### どう感染するの？

患者のたんに含まれる結核菌が、咳やくしゃみで拡散し、**空気感染**します。

結核菌を吸い込んだ人のうち、1～2 割の人が約 2 年以内に発病します。

その他の人は、免疫の働きによって結核菌は体内で冬眠状態に入りますが、体の免疫力が弱まると冬眠状態の結核菌が再び活動を始め、発病することがあります。



### 結核の予防・まん延防止のために大切なこと

- 咳やたん、微熱やだるさが 2 週間以上続くときは、早めに医療機関を受診しましょう
- 学校や職場、地域の定期健診をきちんと受けましょう
- 赤ちゃんは 1 歳までに BCG 接種を受けましょう

BCG 接種は小さいお子さんの重症結核の予防に有効です。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

